

経営比較分析表（平成30年度決算）

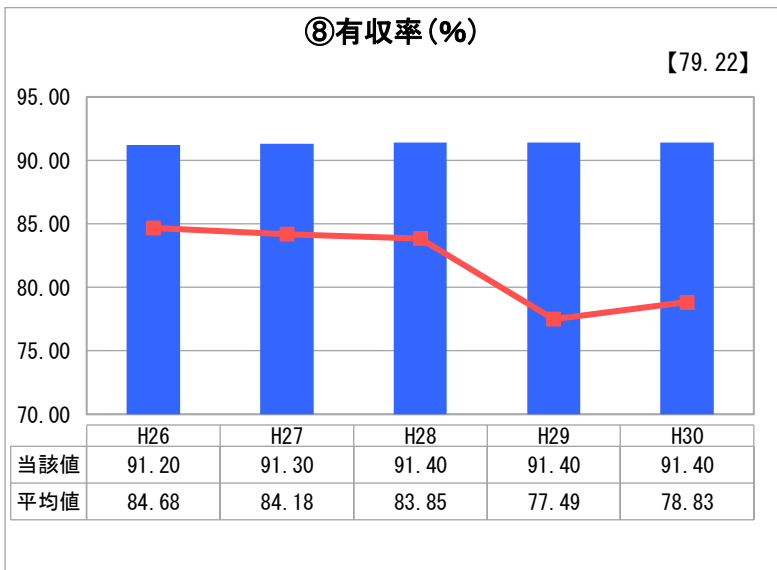
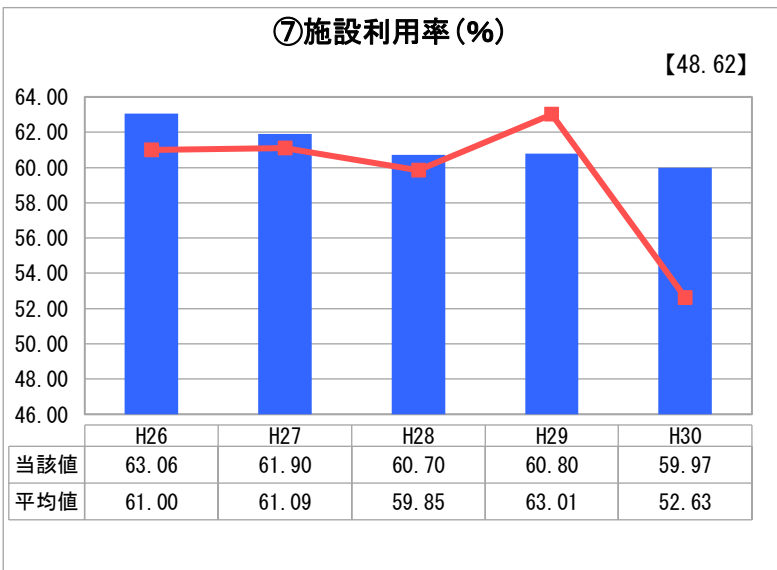
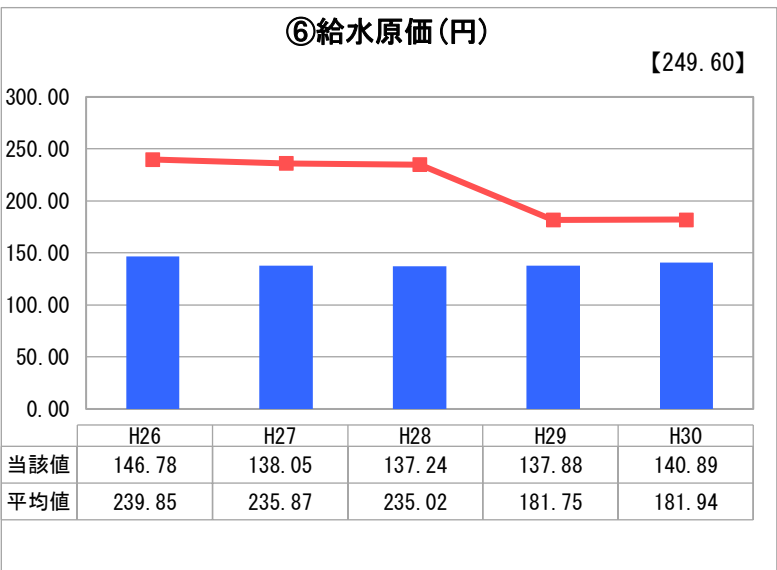
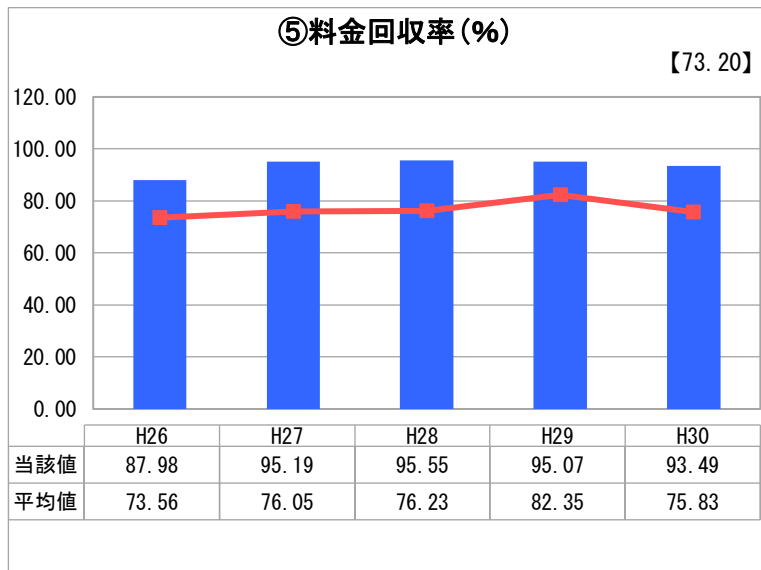
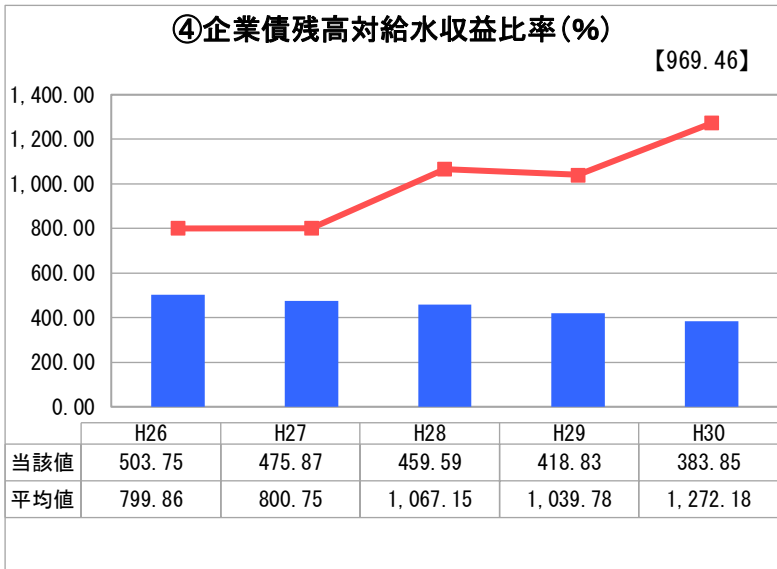
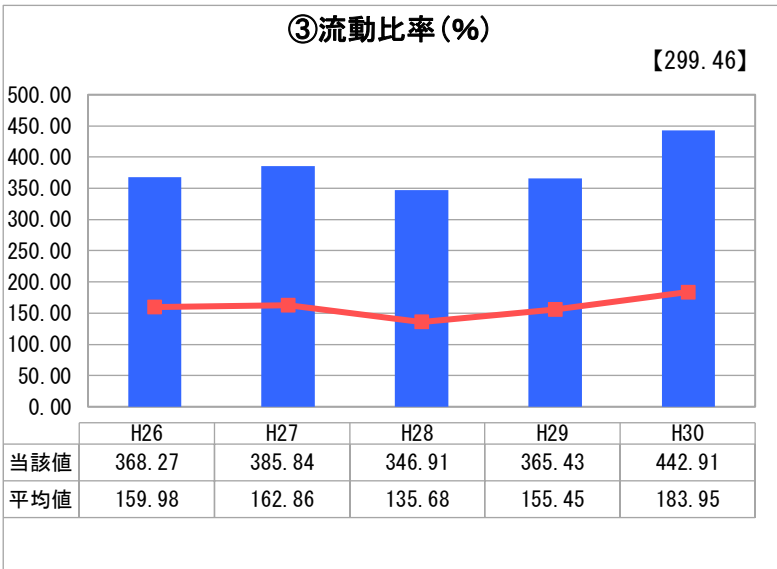
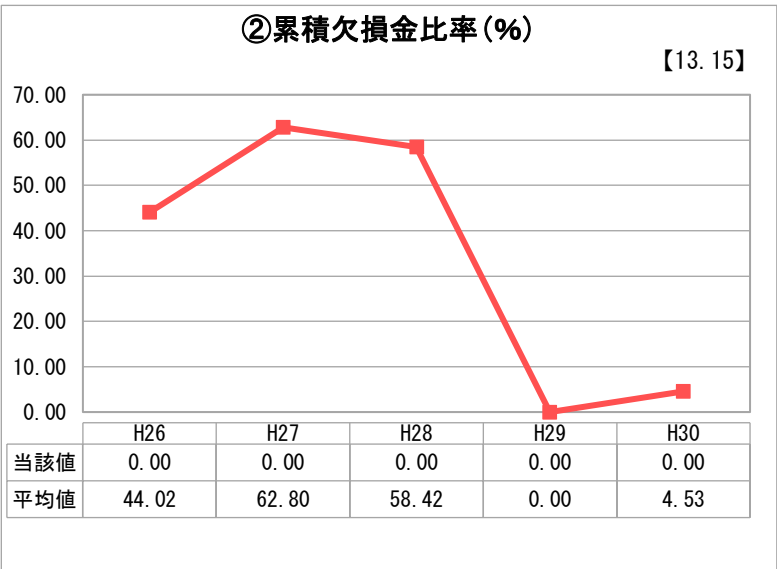
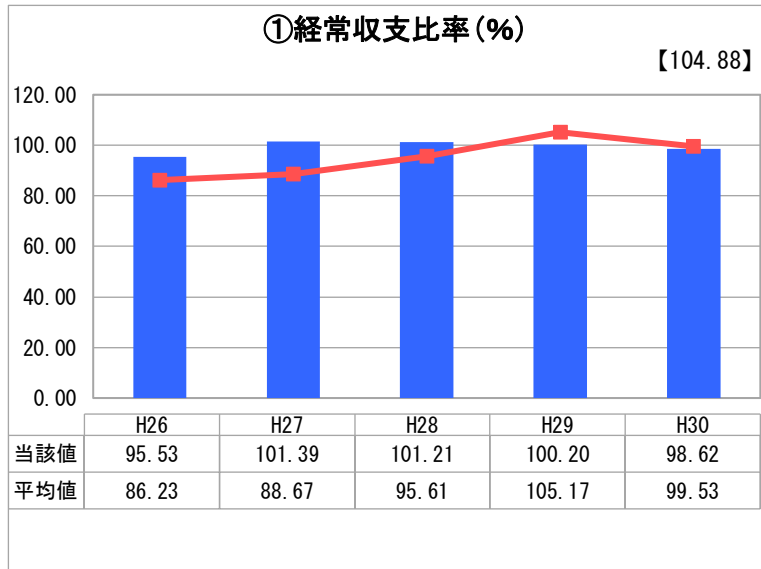
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	67.20	60.37	2,571	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,284	144.21	99.05
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,610	27.11	317.59

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①近年、右肩下がりの傾向になっており、突発的な修繕が増加しているので、計画的に更新等を行い、改善を目指す。

③④現金は増加、起債残高は減少傾向にあり、一見良好な経営に向かっているように思えるが、④の比率について、類似団体は上昇傾向であるが、当町は水道ビジョン等計画の実施が行えていないのが要因であると思われる。今後は、計画を実施していかなければならないが、同時に健全な経営状態も保てるよう努める。

⑤類似団体よりは高い水準であるものの、今後の計画的な更新等に備え、一層の料金収入の確保を図る必要がある。

⑥例年並みの水準が維持できているが、計画的な更新等に向けて、引続き適切で効率的な管理運営に努めていく。

⑦加速する人口減少により、当町の水道事業も稼働率の低下から、確実に影響を受けていると考察できる。施設の統廃合、広域化等を含め計画を実施し、施設規模等の適正化を進める必要がある。

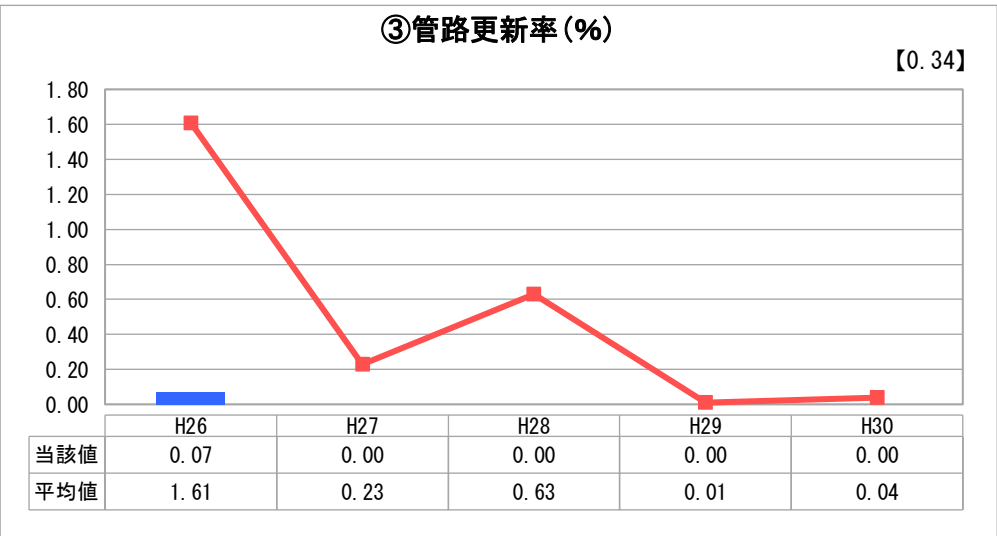
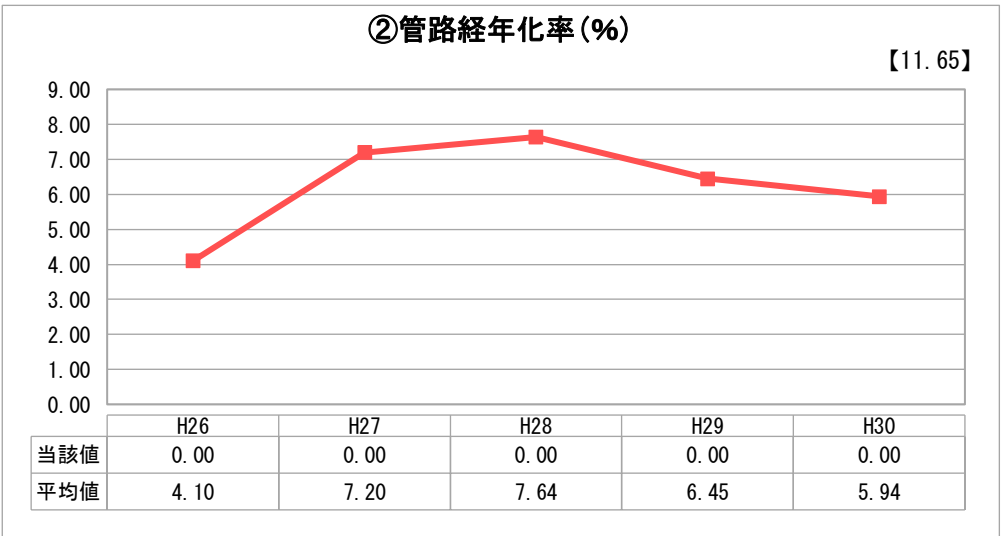
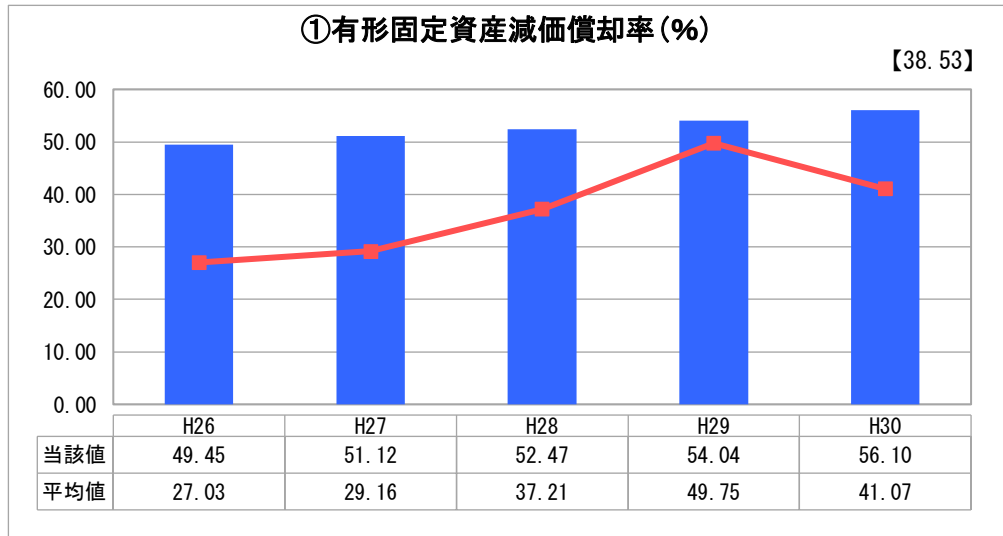
⑧類似団体より高い水準を保てており、ロス是比较的少ないと思われる。引き続き、適切な管理に努めたい。

2. 老朽化の状況について

①類似団体は更新等により償却率が低下しているようだが、当町は近年更新等を行っていない為、類似団体より減価償却率が進んでおり、一斉に更新するのは現実的ではないので、順次計画的な更新を行う必要がある。

③近年は、更新等を行っていない為、類似団体より低い水準となっている。頻発する災害に対応できるように、耐震管等の導入を進めていきたい。

2. 老朽化の状況



全体総括

耐用年数が迫っている固定資産が多くあり、施設の更新等の事業を大量に控えているので、効率的な維持管理に努めるとともに、料金回収率の向上を図っていく必要がある。また、水道事業は国民の生活に必要な不可欠なものなので、持続可能な運営の為に、一層の健全な経営努めなければならない。